

用語解説
スマートウェルネス
シティ首長研究会

我が国の超高齢・人口減社会によって生じる様々な社会課題を、自治体自ら克服するため、この危機感を共有する首長が集結し、健幸をこれからのまちづくりの基本に据えた政策を連携しながら実行することにより、最新の科学技術や科学的根拠に基づく持続可能な新しい都市モデル『Smart Wellness City』の構築を目指す。

「健幸」をまちづくりの基本に据えた全国の自治体の組織。平成21年11月に発足。

用語解説
ワーケーション
自治体協議会

ワーケーションとは、ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を合わせた造語。2020年7月に「観光戦略実行推進会議」が開かれ、国を挙げてワーケーションを推進させる方針が示されました。ワーケーションを利用することで、国内の観光業界・観光地を経済復興できるだけでなく、有給休暇が取りやすくなると期待されています。

ワーケーション自治体協議会とは、ワーケーションの全国的な普及促進を目指す自治体の組織。2019年11月に設立。2021年1月時点では158の自治体(1道17県140市町村)が参加。

用語解説
サテライトオフィス

サテライトオフィスとは、企業の本社・本拠地から離れた場所に設置されたオフィスです。本社の“サテライト=衛星”のように存在することから、名付けられました。

サテライトオフィスには、都市型・郊外型・地方型(地方自治体が誘致を行う場合もあり、二地域就業による雇用の促進、自然に囲まれた環境での生活の実現などが期待される。)の3種類がある。



白山市議会議員

てらこし和洋

白山市議会通信

2021年11月号

秋が深まる今日この頃、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

さらに、2月に行われました、白山市議会議員選挙におきまして、コロナ禍の中、真冬の中、皆様方には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしました。心から感謝を申し上げますと共に、白山市政発展のため皆様のため、誠心誠意、議員活動を務めることをお約束いたします。

新型コロナウイルスが全世界に蔓延し2年が経とうとしています、国内でも、ようやく2回目のワクチンの接種が終わりつつあるようであります。これからは、新型コロナウイルスの変異株と向き合いながらの生活が、続くと思われまます。これまでの生活を取り戻すためにも、手洗い消毒、マスクの着用など、感染対策に十分注意しながら生活して行かなければならないと思います。

岸田新総理には、新型コロナ対策はじめ、この2年間の日本経済の停滞状況を打破すべく、外交や内政の諸課題の取り組みを期待したいと思います。

次に、県政においては来春3月に知事選挙が執り行われるわけであり、県民の将来の指針に向けて大事な選択肢であり、注視をして頂きたいと思ひます。

さて、白山市は、全国的に、東洋経済新報社の「全国住みよさランキング」、宝島社の「住みたい田舎ベストランキング」や、SDGs推進の選定、スマートウェルネスシティ首長研究会の加入、世界ジオパーク認定への取り組みなどのPRから全国的にも知名度が上がってきている所であります。

さらに、去年は、国・県内から1,717人と移住された方も増えてきていますので、さらなる認知度・知名度の向上に繋げ、白山市の発展に向けて尽力し、寄与して行きたいと思ひます。

しかしながら、個人的には、まだまだ格差があると思ひています。市民の皆さんが、満足するような施策の充実と結果が必要であり、コロナ対策と併せて、住みよさを維持して行くよう政策造りを進めていきます。

市議会においては、65歳以上の議員が10人おり、やや高齢化の状況と思ひます。今後は、若い男女の方々議会に参画する状況づくりが必要と思ひています。

終わりに、私自身議員生活の経験を最大限に発揮しなければならないと思ひている所であります。残念ながら議員の中には、議員を特権階級と思ひ、横柄な態度を取り、上から目線で話をする、自己中心主義の議員が見られます。私自身は軸足が市民であることを忘れずに、声なき声を大事にしながら、人間力を磨き、夢と希望と努力することが報われ、安心して暮らすことが出来る安全なるまちづくりの推進を図ってまいります。

今後とも、さらなるご指導ご鞭撻ご叱咤を賜りますようお願いを申しあげ、時節柄、貴台始めご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



(第10代議長で議長席にて)

※令和2年度(2020年)決算と平成27年度(2015年)決算の性質別経費の比較(主なもの)

	区分	令和2年度		平成27年度	
		金額	割合	金額	割合
義務的経費	人件費	72億6,209万円	10.8%	69億3,654万円	13.5%
	公債費	73億8,667万円	11.0%	72億1,071万円	14.0%
	扶助費	107億6,307万円	16.0%	90億9,223万円	17.7%
	小計	254億1,184万円	37.8%	232億3,949万円	45.2%
経常的経費	物件費	76億9,455万円	11.5%	65億2,656万円	12.7%
	補助費	204億1,404万円	30.4%	84億7,052万円	16.4%
	維持補修費	1億7,107万円	0.3%	2億2,476万円	0.4%
	小計	282億7,966万円	42.2%	152億2,183万円	29.5%
投資的経費	普通建設事業費	98億7,530万円	14.7%	95億3,591万円	18.5%
	災害復旧費	0万円	0.0%	2,556万円	0.0%
	小計	98億7,530万円	14.7%	95億6,147万円	18.5%
その他経費	積立金	11億6,791万円	1.7%	8億2,443万円	1.6%
	出資金	0万円	0.0%	390万円	0.0%
	貸付金	46万円	0.0%	5,481万円	0.1%
	繰出金	23億9,958万円	3.6%	26億603万円	5.1%
	小計	35億6,795万円	5.9%	34億8,917万円	6.8%
合計		671億3,475万円	100.0%	515億1,196万円	100.0%

◎てらこし和洋の役職

- | | |
|--|--|
| <p>議会での所属</p> <ul style="list-style-type: none"> ●産業建設常任委員会委員 ●議会運営委員会委員 ●白山石川医療企業団議会議員 監査委員 ●手取川流域環境衛生事業組合副議長 | <p>その他の役職</p> <ul style="list-style-type: none"> ●白山市サッカー協会会長 ●白山市相撲連盟会長 ●石川県フィンランド友好協会会長代行 ●石川県サッカー振興議員連盟会員 ●白山市自衛隊募集相談員 ●クレイングラウンドゴルフクラブ会長 ●神奈川大学宮稜会石川県支部常任幹事 ●錦丘高校同窓会代表幹事 ●元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長 |
|--|--|

てらこし和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ
昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
平成7年4月～ 旧鶴来町議会議員
平成17年3月～ 白山市議会議員
平成26年3月～27年3月 白山市議会議長(第10代)
令和3年2月 白山市議会議員当選(通算8期目)

白山市議会議員

てらこし 寺越 和洋
後援会事務所

〒920-2146 白山市日向町和110番地
TEL・FAX 076-272-2789

- E-mail terakos@asagaotv.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@gmail.com
- 携帯電話 090-7088-0000

※令和2年度決算と令和元年度決算の歳入の比較(主なもの)

項目	令和2年度	令和元年度
市税	182億8,163万円	194億8,967万円
地方譲与税	4億764万円	3億9,524万円
地方消費税交付金	25億1,995万円	20億6,982万円
地方交付税	93億2,669万円	90億3,294万円
国庫支出金	206億8,036万円	65億1,845万円
県支出金	38億9,310万円	34億8,858万円
市債	82億7,400万円	57億9,340万円
諸収入	11億6,053万円	9億1,682万円

◎令和2年度決算	金額
一般会計歳入(収入)	687億8,600万円
歳出(支出)	671億3,475万円
総額歳入(収入)合計	908億1,783万円
歳出(支出)合計	889億4,265万円
市債(借金)合計	852億9,984万円
基金(貯金)合計	26億4,146万円

*企業会計分は除いています。詳細は市の広報誌やホームページをご覧ください。

てらこし和洋の一般質問

令和3年9月10日

Q1 石川中央都市圏ビジョンの審議

質問 石川中央都市圏のスタンプラリーや史跡探訪マップの評価は。

答え スタンプラリーは、市立博物館と一向一揆歴史館が対象で圏域の文化施設の回遊に繋がっている。探訪マップは、圏域での相乗効果により市内の史跡等の発信に寄与。

質問 金沢市が進める認知症高齢者見守りネットの共同運用に対する状況は。

答え 白山市において年内の運用開始に向けて準備を進めている。共同運用となれば、行方不明となった認知症高齢者に対して広範囲の捜索が可能となり、早期発見の見守りの強化につながると期待。

質問 スポーツ施設の石川中央都市圏域住民料金の導入の状況は。

答え 現在、施設の相互利用の促進を図るため検討が進められていて、料金の在り方について協議を進めている。

Q2 土砂災害の対応

質問 土砂災害警戒区域等の町内の集会所や公園、ゴミの集積所に二次避難施設等が掲載されている屋外の防災マップの看板を設置は。

答え 市の総合防災マップ等を活用してほしい。

質問 電柱への標識は。

答え 他の事例を参考に検討する。

質問 県が設置した砂防指定地や急傾斜地崩壊危険区域の看板に、二次避難施設等を表示したマップの掲載は。

答え 県土木部と協議する。

質問 防災マップにQRコードを掲載し二次避難施設までのルート携帯電話で見られるようすべきでは。

答え 現在、IT企業と避難所の開設・混雑状況、現在地から最寄りの避難所までのルートを確認できる情報の提供を進めている。



Q3 通学路等の交通安全対策



質問 松任中学校前・松任中学校西交差点の歩車分離式信号に対する評価は。

答え 人身事故の発生しておらず、車の渋滞の苦情もなく、評価をしている。

質問 市内各小中学校付近の交差点と歩行者用の片側信号を4か所全ての歩行者用信号として、歩車分離式信号の設置は。

答え 学校・PTAと協議の上、要望があれば、通学路等安全推進会議に諮り、県の公安委員会に上申をする。

質問 市内小中学校や保育施設付近の道路をゾーン30として注意喚起を促しては。

答え ゾーン30は、公安委員会が指定し、地区住民の合意形成が必要。

質問 横断歩道の緑色の塗装は。

答え 有効であり取り組んでいきたい。

◆その他の質問

質問 コロナ禍での小中学生の体力についての考えは。小中学校の体育授業の内容と、体力向上1校1プランの成果は。小中学校の体育授業で生徒同士の接触が無く機械器具や道具に触れないリズムダンスを進めては。

質問 移住・定住化促進について、昨年度と今年度の移住相談件数と、県内外からの定住化の状況は。また、オンライン移住相談推進事業の現状は。ワーケーション自治体協議会の入会と、サテライトオフィス開設の考えは。

令和3年6月15日

Q1 令和2年度の決算

質問 令和2年度の個人・法人市民税、固定資産税の金額と令和元年度との増減額は。

答え 令和2年度の個人・法人市民税、固定資産税、都市計画税の合計、総額171億7,400万円。令和元年度と比べ約12億1,700万円の減額見込み。

質問 各種団体への補助金等の返還総額は。

答え 交付総額は約3億8,000万円で、うち約2,800万円が返還。返還金は、翌年度に繰り越す。

質問 アフターコロナを見据え、各種団体、各地区へ新しい活動事業の事務経費の増額は。

答え 要望があれば、支援を検討する。

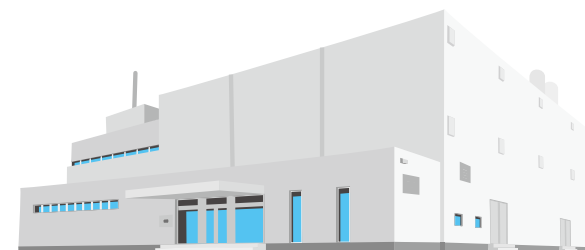
Q2 新工業団地（旭工業団地北部地区）の整備

質問 進捗状況と今後のスケジュールは。

答え 整備区域内の地権者と用地交渉を進めている。並行して市街化区域の見直しに向け県は農政局と協議を進めている。市街化編入の告示後、農地転用が受理され、造成工事が可能となる。また、土地区画整理事業では事業認可に向けて事前協議を進めている。1期目約9haの分譲は、2022年度を目指す。

質問 先行予約を受け付け、全国にPRすべき。

答え 地権者と契約後、分譲地の先行予約の受付ができる。地元企業等に意向確認をし、分譲可能な用地があれば、全国に向けPRを行う。



◆その他の質問

質問 日向・道法寺駐在所の新築及び改築と、千代野・徳光・一木駐在所の跡地は。

Q3 白山市国土強靱化地域計画

質問 計画の41指標数の目標の達成数は。

答え 達成数は、全41の指標のうち11項目。

質問 年度内に達成見込みの項目数は。

答え 未達成30項目は、達成できるよう取り組む。

質問 次期計画を策定しなければならないが。

答え 国のガイドライン及び県計画から、市総合計画等と図り策定して行く。

質問 次期計画に新型コロナ対策など感染予防措置等を織り込むべきでは。

答え 御提案のとおり、新型コロナ対策等あらゆる感染症の予防策・対応策を織り込む。他の追加項目は、国・県等と連携し策定して行く。

Q4 白山ろく産業土木課の本庁への移管

質問 2か月間経過後の検証は。

答え 各市民サービスセンターや担当部署と十分な連携を図り、現地確認を行い、国や県と連絡を取るなど対応がスムーズになった。

質問 災害時の危機管理体制・指揮系統は。

答え 市職員防災マニュアルに従い関係部署が連携し対応。また、指揮系統は、これまでどおり市民サービスセンターにおいて現地確認等を行い、関係課へ対応を指示することとしている。

質問 冬期間の積雪時の対応は。

答え 今年度からの白山ろく地域における除雪対応は、鶴来支所が、県や除雪業者と連携し行う。雪害等、サービスセンター所長の要請により支援する応急対策支援職員を先般指定した。



質問 コロナ禍での職員の労働状況について、時間外労働時間と長時間勤務の職員に対するの対応、今後、集団接種が増える予定だが、手伝い等の職員の時間外勤務の対応は。